

〔伊呂波字類抄人倫〕海賊カイソク

〔和漢三才圖會人倫之用〕盜人略○中

海賊カイソク 即抽榜也俗云 波半俗 相傳往昔有倭船竊入唐強盜者其船幟銘八幡神號以爲海上鎮護華人不可曉之總以海賊稱八幡亦一笑也

〔類聚三代格十二〕太政官符

應勤施方略早斷盜賊事

右被大納言正三位兼行左近衛大將藤原朝臣氏宗宣稱頃年搜捕海賊。督察奸盜之狀數度下符警告稠疊而今如聞凶徒不絕竊盜尙繁水浮陸行皆憂賊害實是國司遮莫府旨不勤肅清之所致也夫五家相保一人爲長以相檢察載在法條又容止盜賊科罪非輕然則事須隣伍之內必置保長察以行來詳以去就亦其市津及要路人衆猥雜之處多施方略勤設債還募以捕獲之賞示以容舍之辜使奸濫徒無所留跡若不加慎行重致解體者必處重責不曾寬宥

貞觀九年三月廿七日

〔土佐日記〕廿一日○承平五年正月 かくいひつ、ゆく、ふなぎみなる人、なみを見て、國よりはじめてか。いぞくむくひせんといふなる事をおもふうへに、海のまたおそろしければ、かしらもみなえらけぬ、な、そちやそちは、うみにあるものなりけり○下略

〔本朝世紀〕承平五年六月廿一日甲申、大納言藤原恒佐卿參入、著左仗座、被定行以來廿八日、可有臨時幣帛使之由是海賊未平伏、仍爲祈禱也伊勢、清水、賀茂、上下、松尾、平野、大原、野、稻荷、春日、大神、住吉

〔今昔物語二十五〕藤原純友依海賊被誅語第二

今昔、朱雀院ノ御時ニ、伊豫掾藤原純友ト云者有ケリ、筑前守良範ト云ケル人ノ子也、純友伊與國ニ有テ、多ノ猛キ兵ヲ集テ眷屬トシテ、弓箭ヲ帶シテ船ニ乗テ常ニ海ニ出テ、西ノ國々ヨリ上ル